

## 入 選

小さな取り組み 未来のために

銚田北中学校

三年 長 峰 利 里 子

朝起きて顔を洗う。歯を磨く。トイレの水を流す。洗濯をする。ご飯を炊く。当たり前のように蛇口から水が出てくるこの日本。私たちにとっては何気ないことかもしれませんが、本当にありがたいことなのだということを、決して忘れてはいけません。私たちの生活と水は、関係し合っている、水はこの地球になくってはならない大切な財産なのです。

私はインターネットで、水について調べてみました。するとその中に、「水源かん養」という言葉を見つけました。その言葉にはどのような意味があるのか、どういったものなのか興味を持ちました。更に詳しく調べてみると、水源かん養とは、雨水を吸収して水源を保ち、あわせて河川の流量を調節する

ための森林のことだということを知りました。更にその森林には水質浄化も含まれているらしく、「なんだこの森林、すごい」と感動しました。自然を利用して水質浄化までしてしまおう。森林なので、私たちに全く害がない。むしろ地球温暖化の抑制などにもつながるといったメリットがたくさんあると考えます。とても素晴らしいことだと思いますか。水を私たちの手で守ろうとする取り組みが行われていることに、とても嬉しく思います。

しかし、そんな簡単に解決することはできないのが今の現状です。他の国では、水が十分に確保できていないという問題があるようです。「私たちには関係ない」なんて、決して思っていないけません。同じ地球に住んでいる人類として、お互い手をとり合ってサポートしていくべきだと私は思います。実際、私たちの国でも水不足は起こりうるのです。決して油断してはいけません。もしかすると明日、蛇口から水が出てこなくなってしまう、なんてことも起こりうるのです。そのような事をこの先防いでいくために、私たち一人一人の取り組みが大切になってき

ます。お皿を洗う時はこまめに水を止める。洗剤の量を考えて使う。お風呂の水を再利用する。私たちの小さな取り組みも、みんなでコツコツ積み重ねていけば、水を守る活動につながっていくはずです。この作文を読んでいるあなたも、私たちと一緒に取り組みでいきましょう。将来の地球や自分に、きつとプラスになるのではないのでしょうか。一緒に頑張っていきましょう。

個人の取り組みも大切ですが、やはりボランティア活動などを通じた水を守る取り組みも大切だと思います。先ほどの「水源かん養」を生かした森林を守ったり、増やしたりする。近年話題の植林をボランティア活動として一般の方が気軽に参加できる場を、今より定期的につくる、など、より現実的な活動も大切になると思います。私も、身のまわりでそういう活動が行われていたら、参加してみたいです。

私たちに欠かせない資源「水」。考えなおしてみると、改めて水というものの重要性、尊さを強く実感しました。安心して水が使える今の生活に感謝し

て、自分にできることに進んで取り組んでいこうと思います。